

ご案内

InterOpto 2017 直前特集

一般財団法人光産業技術振興協会では、最先端光技術の国際展示会である、InterOpto 2017（International Optoelectronics Exhibition 2017）を 10月4日（水）～10月6日（金）の3日間、幕張メッセにて開催いたします。多くの方のご来場をお待ちしております。

<http://www.optojapan.jp/interopto/>

会期：2017年10月4日（水）～6日（金）10:00～17:00

会場：展示会 幕張メッセ 国際展示場 ホール7 動向セミナー：国際会議場 303

（千葉市美浜区中瀬2-1 <https://www.m-messe.co.jp/access/>）

■展示会

InterOpto 2017は、国内外のレーザ、フォトニクス、光デバイス製品などが一堂に集まる最先端光技術の国際展示会です。出展分野は、レーザ／光源、光素子／部品、材料、光機器／装置、光産業関連、サービス／ソフトウェアの広範囲にわたり、出展品目を通して光関連材料から光応用システムまで幅広い技術が展示されます。

国内の企業・団体はもとより、北米、欧州、アジア等の海外企業の出展も予定されており、光関連の幅広い技術・情報の交流が期待されるとともに、最先端技術・製品の開発状況を総合的に眺めることができます。

今年は会場を千葉市の幕張メッセに移し、CEATEC JAPANと同時開催（CEATECは10/3～6）いたします。例年同時開催している「LED JAPAN 2017」「BioOpto Japan 2017」「LaserTech 2017」、昨年より同時開催となった「MEMSセンシング&ネットワークシステム展2017」と併せて6展示会の同時開催となることで、デバイス・材料からアプリケーションまで一貫した情報収集が可能となっております。

■セミナー

展示会と並行して、当協会では光産業および光技術に関する動向セミナーを開催します。毎年、講師としてアカデミアやビジネスの第一線で活躍中の方々をお招きし、好評をいただいております。

また、展示会場内に設けられたオープンスペースのセミナー会場では、10月5日（木）と6日（金）に、展示会の「注目される光技術ゾーン」への出展会社が自らの技術・展示品を紹介する「注目される光技術セミナー」を開催します。

セミナー名	開催日	会場
光技術動向セミナー	10月5日(木)	国際会議場 303
光産業動向セミナー	10月6日(金)	国際会議場 303
注目される光技術セミナー	10月5日(木)～6日(金)	展示会場内セミナー会場 (17-A)

All about
PHOTONICS 2017

最先端光技術の国際展
INTERNATIONAL OPTOELECTRONICS EXHIBITION 2017
InterOpto 2017

光技術のバイオ・医療応用専門展
BioOpto Japan
2017 Conference + Exhibition

最先端レーザー加工技術の専門展

LaserTech 2017

LED設計・アプリケーション開発展

LED JAPAN 2017

IoTシステムの最先端技術展
MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2017



出展者リスト

出展者名	小間番号	出展者名	小間番号
AkiTech LEO	29-R	santec	25-R
アドコム・メディア	22-B12	GEE	27-N
アドバンテスト	17-T4	システムズエンジニアリング	28-J
アペルザ オートメーション新聞社	22-B5	シナジーオプトシステムズ	25-T
アモーガイミング	28-N	シバサキ	26-N
イエナオプティックジャパン	22-M	島根大学光応用計測研究室	22-H9
イノベーションリサーチ	22-V8	シャープ	7-T
IMRA AMERICA	17-T3	昭和オptronics	8-R
InPhenix	9-N	信越ポリマー	8-T
ウシオ電機 / ウシオオプトセミコンダクター	17-M	スキャソル	19-M
宇都宮大学	22-H11	鈴木光学	9-T
エイム	22-V9	スペクトラ・フィジックス	3-M
エーディーワイ / MSG Lithoglas (ドイツ)	22-V7	スペクトルデザイン	17-T5
エガリム / 東京大学 / 岡本硝子	29-N	住友電気工業	22-T
SPIE (アメリカ)	1-C	Zemax Japan	31-M
エバ・ジャパン	31-J	千歳市 / 千歳科学技術大学	23-S
オーシャンフォトニクス	11-M	ティー・イー・エム	3-N
オノックスエムティーティー	5-T	テクニカル	31-R
オプトゲート	29-S	東京インスツルメンツ	28-R
OPTO TAIWAN 2018 (PIDA) (台湾)	19-N	同志社大学 理工学部	22-H12
オptronics社	25-S	東ソー・クオーツ	22-R
オプトワークス	22-V6	トプティカフォトニクス	4-R
海洋総合開発	17-T6	トリマティス	26-M
キーオプシスジャパン	7-N	トレックスセミコンダクター	23-N
QDレーザ	22-N	長岡技術科学大学	22-H10
クロマテクノロジジャパン	25-M	ナノシード	22-B4
ケイエルブイ	3-T	ナラハラオートテクニカル	28-S
京浜光膜工業	26-T	ニコン	31-V
光伸光学工業	24-M	日東光器	29-T
光響	22-B11	日本レーザー	7-R
澤木工房	22-V11	ネオス	27-M
産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 / 先進コーティング研究センター / 機能化学研究部門	17-E	ハイテック	5-S
		パイフォトニクス	24-N

出展者名	小間番号	出展者名	小間番号
浜松ホトニクス	1-P	富士通特機システム / 紫光技研	5-V
光科学技術研究振興財団	26-S	プロリンクス	7-M
光産業技術振興協会 (OITDA)	31-S	堀場製作所	6-V
光電子融合基盤技術研究所 (PETRA)	31-T	丸文	3-R
ファインテック日本	26-R	ヨコオ	22-V10
フォトニックサイエンステクノロジ	23-T	レイチャーシステムズ	28-M
フォトニックスラティス	25-N	Laser Focus World Japan	19-R
フォトンリサーチ	28-T		

■光技術動向セミナー・光産業動向セミナー

10月5日（木）に光技術動向セミナー、6日（金）に光産業動向セミナーを国際会議場303にて開催します。

参加費は、一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員、教育機関、公的機関、報道関係者は無料、一般参加者は¥5,000／日（消費税・資料代¥1,000含む）となっております。

(1) 光技術動向セミナー

東京工業大学 小山教授による「面発光レーザ集積フォトニクスの最新動向と応用」と題した特別講演を行い、光技術各分野（情報処理フォトニクス、光ユーザインターフェース、光有機材料・デバイス、光無機材料・デバイス、光情報通信、光加工・計測、光エネルギー）の最新技術動向について紹介します。

(2) 光産業動向セミナー

ベッコフオートメーション株式会社 川野氏による「インダストリー4.0 最前線：Industrial IoT の導入とビジネスモデル」と題した特別講演を行い、光産業全体の最新動向および光産業各分野（情報通信、情報記録、入出力、ディスプレイ・固体照明、太陽光発電、レーザ・光加工、センシング・計測）の最新動向について紹介します。



展示会場（国際展示場ホール7）

セミナー会場（国際会議場 303）

光技術動向セミナー 10月5日（木）

会場：幕張メッセ 国際会議場 303

特別講演 14:00～15:00

「面発光レーザ集積フォトニクスの 最新動向と応用」 小山 二三夫

東京工業大学 科学技術創成研究院

未来産業技術研究所 所長／教授

概要：日本発の技術である面発光レーザの発明から40年が経過した。短距離光通信、プリンタ、マウスの光源として実用化が進められ、現在の短距離光LANやデータセンター内の光インターフェース用光源として中心的な役割を果たしている。さらに、携帯電話に搭載のモーションセンサを含むレーザレーダや3D生体イメージング用光源としての開発も進められている。本講演では、面発光レーザを中心とした集積フォトニクスの研究開発と応用展開について紹介する。



光技術動向セミナー

10:30～10:35	主催者挨拶	小谷 泰久 一般財団法人光産業技術振興協会 専務理事	
10:35～11:05	<p>「情報処理フォトニクスの最新技術動向」</p> <p>—光メモリ、光インターフェース、光演算の最新技術—</p> <p>光メモリ、データサーバー向け光インターフェース、光演算技術の最新動向を紹介する。光メモリ技術に関しては、アーカイブシステムに向けた大容量長期データ保存記録の展開やヘルスケア用途への応用を紹介する。光インターフェースに関しては、ボード内・ボード間、ラック間の短距離光通信技術の最新動向を紹介する。光演算に関しては、デジタル光学計測技術、ナノフォトニクス、光情報処理の最新技術を紹介する。</p>	<p>島 隆之</p> <p>国立研究開発法人産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 光センシンググループ 主任研究員</p>	
11:05～11:35	<p>「光技術応用ユーザインタフェースの最新動向」</p> <p>車の自動運転やドローンでは、光センサやイメージデバイスが重要な技術である。また、スマートフォンやタブレットPC、ゲーム機などの高機能端末ではユーザインタフェースが大切である。本講演では、これら高機能装置に使われるディスプレイやイメージセンサなど光技術をベースとした要素デバイスの最新技術動向とともに、それらを応用した医療、自動車、コミュニケーション、教育領域でのユーザインタフェース技術を報告する。</p>	<p>長谷川 雅樹</p> <p>メルクパフォーマンスマテリアルズ株式会社 量子材料応用開発ラボ1 マネージャー</p>	

11:35～12:05	「光有機材料・デバイスの最新動向」 今年に入り大型有機EL 4Kテレビが各社から市場に投入されている。インクジェット工法の課題が改善され、日本勢はインクジェット塗布型有機ELパネルの製造を始めている。IoTの時代が到来すると膨大な量の多品種センサが必要となるが、有機ELテレビに代表されるように、材料の進展と製造技術の改革も益々競争が激しくなっている。2016年度に調査を行った光有機材料やその製造技術等の動向について報告する。	山本 典孝 国立研究開発法人産業技術総合研究所 フレキシブルエレクトロニクス研究センター ハイブリッドプロセスチーム 研究チーム長	
12:05～13:30	昼食休憩		
13:30～14:00	「光無機材料・デバイスの最新動向」 無機材料を用いた光デバイス技術に関する、各波長域における最新応用技術の進展や先端デバイスの技術動向を調査した。テラヘルツ・中赤外域では総括的な最新技術動向に関して、光通信用近赤外域では市場性を考慮した応用デバイスを中心とした技術動向に関して、可視・紫外域では先端技術デバイスや応用動向に関して調査したので、これらの技術概要について、材料技術からデバイス技術・アプリケーション技術までの最新技術動向を紹介する。	中村 幸治 沖電気工業株式会社 情報・技術本部 研究開発センター 主任研究員	
14:00～15:00	特別講演 「面発光レーザ集積フォトニクスの最新動向と応用」	小山 二三夫 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 所長／教授	
15:00～15:30	「光通信ネットワークの最新動向」 空間分割多重と多値変復調を駆使した大容量光伝送技術、従来ファイバの限界を打破する空間多重光ファイバ、高い柔軟性を持つエラスティック光ネットワークと光ノードのオープン化、光ネットワークのSDN/NFV化とAIを用いた新たな潮流、5Gに向けた次世代光アクセス、さらにはBeyond 100Gb/s OTN、400Gb/s Ethernetの標準化議論などを取り上げ、最新の光通信ネットワーク動向を紹介する。	乾 哲郎 日本電信電話株式会社 NTT未来ねっと研究所 フォトニックスポートネットワーク研究部 主任研究員	
15:30～16:00	「光加工・計測・メディカル応用の最新動向」 2016年度に調査を行った光源技術:「ファイバレーザの技術動向」、「次世代半導体露光用EUV光源の現状とシミュレーション技術」、加工技術:「樹脂の3Dプリンティングと高速高精細化技術動向」、計測技術:「工業用OCT」、「非接触潜傷検査技術」、メディカル応用:「生体組織の高精度分光」に関する報告を行う。	藤田 雅之 公益財団法人レーザー技術総合研究所 主席研究員 大阪大学 レーザーエネルギー学研究センター 招へい教授	
16:00～16:30	「太陽光発電の最新動向」 太陽光発電の世界導入量は2013年度から着実に増加し、2016年度は75GWに達した。この間、太陽光発電システムの導入地域はヨーロッパからアジアへと移動、中でも中国の導入量は2016年に世界の新規導入量の45%に達した。日本は、固定価格買取制度(FIT)の問題点が指摘されつつも、2016年は約8.6GWが新規に導入されている。講演では、Si系太陽電池を始めとする太陽電池の最新技術動向および改正FITについて紹介する。	山田 明 東京工業大学 電気電子系 教授	

光産業動向セミナー 10月6日（金）

会場：幕張メッセ 国際会議場 303

特別講演 12:30～13:30

「インダストリー4.0 最前線:Industrial IoT の導入とビジネスモデル」 **川野 俊充**
 ベッコフォートメーション株式会社
 代表取締役社長

概要:インダストリー4.0の最新動向を踏まえ、課題となっているビジネスモデルに人工知能などの活用でどのような解決を与えていくことが可能か、経産省の「スマートファクトリー実証事業」で採択された駿河精機との取り組みを事例として紹介する。



光産業動向セミナー

10:30～10:35	主催者挨拶	小谷 泰久 一般財団法人光産業技術振興協会 専務理事	
10:35～11:05	「光産業全体の最新動向」 一般財団法人光産業技術振興協会の平成28年度の光産業動向の調査結果を基に、日本の光産業全体の最新動向について報告する。また、毎年開催の光関連団体国際会議(IOA: International Optoelectronics Association)の報告の中より、世界の光産業の最新動向および今後の動向についても報告する。	小林 直人 早稲田大学 研究戦略センター 副所長 教授	
11:05～11:35	「情報通信分野の最新動向」 情報通信分野における光機器・装置および光部品の全出荷額ならびに国内生産額の調査結果および市場動向調査結果を報告する。動画コンテンツの大容量化、クラウドサービスやビッグデータ利活用の進展により、データセンタ向けや、携帯電話基地局向けの需要が大きく2016年度も光部品は堅調であった。	片岡 智由 NTTエレクトロニクス株式会社 フォトニックコンポーネント事業本部 第一事業ユニット ライン系製品部 部長	
11:35～12:30	昼食休憩		
12:30～13:30	特別講演 「インダストリー4.0 最前線:Industrial IoT の導入とビジネスモデル」	川野 俊充 ベッコフォートメーション株式会社 代表取締役社長	

13:45～14:15	<p>「情報記録分野の最新動向」</p> <p>光技術を用いた情報記録(光ディスク)の装置・媒体についての国内生産額および、海外生産分を含む全出荷額の調査・分析をおこなった結果を今後の市場動向も含め報告する。情報記録分野としては、再生専用装置、記録・再生装置および光ディスク媒体の各分野において調査・分析した結果も紹介する。</p> <p>また、長期保存性能や信頼性に優れる光ディスクの長期保存用途での使用方法や普及のための課題に関して紹介する。</p>	<p>竹島 秀治 三菱ケミカルメディア株式会社 取締役 Chief Technology Officer OD技術部長</p>	
14:15～14:45	<p>「入出力分野の最新動向」</p> <p>日本の光産業における入出力機器の動向調査・分析を行った結果を報告する。入出力機器の主要製品分野を、光学式プリンタ、MFP(Multi-Function Printer)、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話、タブレット端末、イメージセンサに分類した上で、製品分野毎の動向や技術トレンドについて紹介する。</p>	<p>奥富 正敏 東京工業大学 工学院 システム制御系 教授</p>	
14:45～15:15	<p>「ディスプレイ・固体照明分野の最新動向」</p> <p>ディスプレイ装置の2016年全出荷額は減少を見込んでいる。全出荷額の大半を占めるテレビの減少要因として、国内需要の一巡、世界的な価格競争の激化、技術のコモディティ化、情報取得手段の多様化などが考えられる。また、スマートフォン・テレビ・PCモニタ・車載用途のディスプレイ素子の全出荷額も減少を見込んでいる。</p>	<p>藤掛 英夫 東北大学 大学院工学研究科 電子工学専攻 教授</p>	
15:15～15:45	<p>「世界潮流となった太陽光発電システムの現状と展望」</p> <p>太陽光発電の世界最前線では、発電コストが3セント/kWhを切り、在来型電源と同レベルを達成している。2016年の太陽光発電システムの導入量は、対前年比50%増の75GWとなり、特定地域での導入から世界全体に広がっている。2015年12月に採択されたCOP21でのパリ協定は、2016年11月に発効となり、太陽光発電システムの導入は益々加速していくことが見込まれている。太陽光発電システムの普及拡大は今や世界潮流となっており、わが国における太陽光発電の現状を踏まえて、今後の展開について展望する。</p>	<p>一木 修 株式会社資源総合システム 代表取締役社長</p>	
15:45～16:15	<p>「レーザ・光加工分野の最新動向」</p> <p>レーザ・光加工分野は、ここ数年毎年 10%程度の成長を続けている。今年度の最大の話題は、ファイバーレーザのシェアが炭酸ガスレーザを抜き、レーザ応用生産装置の中ではエキシマレーザについて 2 位に躍り出たことである。講演では、各種レーザ加工装置、ランプ露光装置、3D プリンティング装置の動向ならびに最新の話題を紹介する。</p>	<p>杉岡 幸次 国立研究開発法人理化学研究所 光量子工学研究領域 理研-SIOM連携研究ユニット ユニットリーダー</p>	

16:15～16:45	「センシング・計測分野の最新動向」 光計測器・光センシング機器分野は国内光産業出荷額の約1.5%を占めており、その占有率は前年度に比較すると減少傾向にある。しかしながら、2015年度における全出荷額は、前年度比較で4.6%増の249,735百万円となっている。これは、出荷額が大きい光センシング機器分野の一部が国内回帰傾向にあることによると推察される。2015年度の個別出荷額では、光測定器が12.3%増、光センシング機器は4.0%増と順調に拡大し、2016年度も全体で2.8%増を見込んでいる。光通信ネットワークの拡充や新しいデバイス開発への投資は徐々に回復しつつあり、また、省エネや安全安心への意識の高まりおよびIoTビジネスの進展から、今後も好調が期待され、引き続き2017年度も、全出荷額および国内生産額とも、やや増加と予測されている。	岩井 俊昭 東京農工大学 大学院工学研究院 生物システム応用科学府 教授	
-------------	--	---	---

※都合により講師・プログラムの内容が変更になる場合があります。

■注目される光技術展示・注目される光技術セミナー

光技術の最新情報が集まる当協会の強みを生かし、萌芽段階にある技術をいち早く発掘・紹介することを目的に、毎年「注目される光技術展示」と「注目される光技術セミナー」を開催しています。これらは各分野で注目されている企業・研究機関を、当協会の光技術動向調査委員会からの推薦および中小企業を対象とした出展支援事業の応募の中から選出し、これらの企業等の技術にスポットを当てて、新たな光産業を牽引することが期待される技術を展示とセミナーの両面から紹介するものです。

注目される光技術セミナーは、10月5日（木）10:10～13:05 および 10月6日（金）10:10～13:05 に、展示会場内セミナーホールにて実施します。

注目される光技術展示 出展者リスト

出展者名	出展技術(出展名)
株式会社エガリム	次世代ホログラム:Ega-rim & Holo-Window フォトポリマーFIGURA FILM が開く高度ホログラム技術の応用
株式会社アモーガイメージング	あらゆる画像を言葉に替えるビジュアル・トランスレータ
GEE 株式会社	光産業ビジネスエコシステム 1.0 on 光シミュレーター
株式会社シバサキ	ポータブルな水中バクテリア検出システムおよびLED照明製品
株式会社フォトニックラティス	フォトニック結晶光学素子
パифォトニクス株式会社	光パターン形成 LED 照明「ホロライト」
トレックスセミコンダクター株式会社	コイル一体型 DCDC コンバーター及び電源 IC
株式会社 QD レーザ	高機能産業・通信用半導体レーザ 網膜走査型レーザアイウェア技術

【29-N】株式会社 エガリム

弊社は、全てのホログラム開発の原点ともいえる『ホログラム記録媒体』の製造はもとより、『応用製品の企画・開発・試作』から、『3D ホログラムコンテンツ制作』に至るまでを、少量から大量受注まで、トータルにコーディネイトできるホログラム業界で初めての企業です。

今回は、オリジナル・フォトポリマーFIGURA FILM の応用展示と、ホログラム技術を高度に応用したユニークな照明機器、今年度の 2017NEDO 新エネルギーベンチャー技術革新支援事業に採択された窓から差し込む太陽光をガラスに閉じ込めて発電する採光型太陽光発電システム Holo-Window の技術開発関連の展示を行います。さらに、透過率 90%以上でコントラスト 10,000:1 ~ 1,000,000:1 の、超高消光比を実現するガラス偏光子も展示します。

展示製品

- ・ホログラム記録用 オリジナル・フォトポリマー・フィルム『FIGURA FILM』
- ・独自技術 ホログラム照明ユニット『絵画縁』
- ・ホログラフィック採光型太陽光発電ユニット『Holo-Window』（原理モデル）
- ・超高コントラストガラス偏光子『Glapola』『Glapola Cube』

【28-N】株式会社アモーガイメージング

弊社は、画像認識技術をコアとして、自然環境を認識する技術と人間社会のコミュニケーションのための画像と言語の融合技術の開拓を進めています。ドローン向け三次元計測技術、深層学習を用いたあらゆる画像を認識し言葉に替えるビジュアル・トランスレータ、センサーを用いた IoT 応用の開発と事業化を行っています。アモーガとは、エクセレントや絶対真理といった意味のサンスクリット語です。

展示製品

- ・深層学習による暗黙知の形式知化技術（IoT 応用）
- ・視覚障害者や失語症患者のための一般物体認識アプリ（ビジュアル・トランスレータ）
- ・IoT 向け計器画像の画像認識技術（ビジュアル・トランスレータ）
- ・産業用 ドローン向け空撮画像を用いた三次元計測製品（三次元応用）

【27-N】株式会社 GEE

光学・照明シミュレーションの有効活用で、光のビジネスを加速させます。

展示製品

光産業ビジネスエコシステム 1.0 on 光シミュレータ

～試作レス、視認性デザインレビューのソリューション～

- ・ハイパースペクトルカメラ+輝度絶対値計測器
- ・HDR 高輝度ディスプレイ
- ・HDRI カメラ
- ・P2P 8K 画像伝送光ネットワークシステム
- ・自動車のエクステリア／インテリアのシミュレーション事例

- ・医療の DICOM 画像の高コントラスト視認性向上事例
- ・OPTRBO 1.0

【26-N】株式会社シバサキ

アルミ事業そして LED 事業を展開している弊社は、2011 年より、両事業を母体とした次世代型のモノづくりに向けて、研究開発を進めております。アルミ事業で培った加工・組立技術と、LED 事業によりもたらされたオプトエレクトロニクス・ソフトウェア技術を融合させることにより、「光センシング」分野における先端的な商品開発にチャレンジしております。本展示会では、表面プラズモン共鳴励起蛍光増強法を応用したバイオセンシング技術を用い、取水現場にて簡単、迅速にバクテリア検査ができる装置を展示します。

また、LED 事業の紹介として、画像検査用および接着・硬化用の近赤外 LED 光源、UV LED 光源を展示します。

展示製品

- ・表面プラズモン共鳴励起蛍光測定によるバクテリア検出装置
- ・画像検査用および接着・硬化用の近赤外 LED 光源、UV LED 光源

【25-N】株式会社フォトニックラティス

独自技術である自己クローニング型フォトニック結晶を用いた光学素子を展示いたします。フォトニック結晶は人工的な周期構造を用いて光を制御する次世代の光学素子です。

例えば波長板・偏光子の軸方位を面内で自由に制御することで、従来の光学素子では実現できなかった偏光分布を 1 枚の素子で実現できます。

今回は新製品として光通信用厚さ 20 μm の波長板、面型の偏光分離素子、レンズを展示します。新しい光制御の可能性をご実感ください。

展示製品

- | | |
|---|--------------------------------|
| ・軸対称偏光変換素子 | (直線偏光をラジアル/アジマス偏光に変換) |
| ・光通信用超薄型波長板 | (厚さ 20 μm 以下) |
| ・パターン化波長板 | (面内で自由な軸方位を実現) |
| ・フォトニック結晶マイクロレンズ (直径数 μm の面型レンズ) | |
| ・偏光分離プリズム | (素子に垂直に入射することで直交する偏光を 2 方向に分離) |

【24-N】株式会社パイフォトニクス

ホロライトは軽量小型な装置から擬似平行光を発生することができる LED 照明機器で、製品の特性として照明光の拡がり角度は 1 度、50 メートル離れた遠隔において 1 m の領域をスポットで照明することができる。高輝度 LED 光源と大型光学素子の組合せにより空間に様々な光パターンを形成するオンリーワン製品で、本技術は、日本、米国、中国、香港で特許登録済である。ホロライトの光は、高指向特性を生かし必要な場所に必要な量の光を届け、光害を低減する次世代の光技術であり、様々な業界のプロフェッショナルに採用され、検査、演出、建築、道路、安全、観光、芸術、教育、実験などの用途で活用されている。本展

示会では、労働災害を低減する安全用照明、地域や人々のもつ魅力を生かして地方創生を実現する観光用照明、光害を低減し新しい景観を創造する建築用照明を中心に展示する予定である。

展示製品

- ・光パターン形成 LED 照明 「ホロライト」

- ホロライト・カク
- ホロライト・ライン
- ホロライト・アーチ
- ホロライト・アロー
- ホロライト・アルファベット

【23-N】株式会社トレックスセミコンダクター

電源 IC に特化したアナログ CMOS のプロフェッショナル集団であるトレックスセミコンダクターは光通信機器等に最適なコイル一体型 microDCDC コンバーター (XCL シリーズ) を出展致します。

XCL シリーズはコイルが PKG に内蔵されている為、通常の DCDC コンバーターと比較して「省スペース」「低 EMI ノイズ」等のアドバンテージがあります。

制御 IC は弊社独自の DCDC 制御方式である”Hi-SAT COT”回路を使用し「高効率」を実現しています。

展示製品

- ・コイル一体型” micro DCDC コンバーター (XCL シリーズ)
- 昇圧タイプ、降圧タイプ、負電圧タイプ(開発中)
- ・その他汎用電源 IC

【22-N】株式会社 QD レーザ

株式会社 QD レーザは、レーザ技術を活かし、半導体レーザおよび網膜走査型レーザアイウェアを提供しております。半導体レーザとしては、GaAs 基板をプラットフォームとする波長 532 nm～660 nm、1064 nm、1310 nm の高性能、高品質なデバイスを通信・産業用途に提供しています。バイオメディカル装置用光源 532-594 nm、各種センサ用 640-940 nm レーザ、精密加工用 1064 nm レーザ、大規模データ通信の光源として期待されている Si フォトニクス用 1310 nm 量子ドットレーザ、高品質エピタキシャルウェハを展示いたします。また、網膜走査型レーザアイウェアは、RGB レーザと MEMS 技術を組み合わせ、網膜に直接画像を投影するウェアラブルデバイスになり、出展に際してはお客様に体験いただけるデモ機を展示いたします。

展示製品

- ・532-594 nm 小型可視レーザ
- ・1030-1180 nm DFB レーザ
- ・640-940 nm 高光出力 FP レーザ
- ・1300 nm 量子ドットレーザ
- ・網膜走査型レーザアイウェア

注目される光技術セミナープログラム

聴講無料 会場：展示会場内プレゼンテーション会場（17-A）

10月5日（木）

10:10 10:50	光産業ビジネスエコシステム 1.0 on 光シミュレーター GEE 株式会社 取締役 CMO 坪井 昭彦 [講演内容] 自動車の安全に関連する視認性とデザイン性を両立するため、光シミュレーターをコミュニケーションツールとして、自動車メーカー、サプライヤー、ベンチャー企業が連携してイノベーションを起こす仕組みであるビジネス・エコシステムの紹介を行なう。
10:55 11:35	通信・産業・医療福祉・民生用の新しい半導体レーザとその応用 株式会社 QD レーザ 代表取締役社長 菅原 充 [講演内容] (株)QD レーザは、新しい半導体レーザ市場の創出を目指して事業を展開している。本講演では、高温度で安定動作する量子ドットレーザの通信市場への量産出荷、量子ドットレーザをシリコン光回路と融合した光インタコネクト用高速光源、精密加工用の短パルス DFB シードレーザ、バイオ・医療用の緑・黄緑・橙色の波長変換型電流注入半導体レーザ、及び、医療・福祉用の網膜走査型レーザアイウェアを紹介する。
11:40 12:20	自己クローニング型フォトニック結晶の諸応用 株式会社フォトニックラティス 取締役副社長 川嶋 貴之 [講演内容] 自己クローニング型フォトニック結晶の製造技術とその応用について紹介します。 紫外域から通信用波長域まで、フォトニック結晶を用いたユニークな偏光制御素子をラインナップしています。 当日は応用例を交えて、フォトニック結晶の特長について詳しくご紹介します。
12:25 13:05	機能照明から光センシングまで 株式会社シバサキ 代表取締役社長 柴崎 敏廣 [講演内容] 本講演は先端的な光技術の紹介ではありません。全くの素人集団であったわが社が、いかにして光技術に出会い、試行錯誤を繰り返しながらそれをビジネスとして成り立たせて行ったかという軌跡を振り返り、21世紀のあらゆる産業に欠かすことのできないと言われている光技術の先端研究から幅広い応用まで、様々な分野の用途開発を通して、新たなビジネス展開の可能性を展望します。

10月6日（金）

	次世代ホログラム技術:Ega-rim & Holo-Window フォトポリマーFIGURA FILM が開く高度ホログラム技術の応用 株式会社エガリム 代表取締役 加瀬澤 寿宏
10:10 10:50	<p>[講演内容]</p> <p>海外企業と共同開発した大量生産及び大面積露光可能なオリジナル・フォトポリマーFIGURA FILMとホログラム技術を高度に応用したユニークな照明機器『絵画縁エガリム』、今年度の2017NEDO新エネルギーベンチャー技術革新支援事業に採択された窓から差し込む太陽光をガラスに閉じ込めて発電する採光型太陽光発電システム Holo-Window の技術開発を発表します。</p>
10:55 11:35	あらゆる画像を言葉に替えるビジュアル・トランスレータ 株式会社アモーガイメージング 代表取締役 花嶋 正昭
	<p>[講演内容]</p> <p>ゆるキャラから自動運転まで、弊社は、画像認識において、以下の3サービスを提供しております。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 画像認識の導入サービス分野(ビジュアルトランスレーター) 認識用スマホアプリが簡単に作れるサービス 2. 様々な応用が可能な深層学習による人工知能導入サービス分野 深層学習によるパラメータ最適化で、人智を超えた特徴抽出で新たなインサイトを得よう。 3. ドローン向け地形測量分野 世界最高レベルの計測精度を提供します。
11:40 12:20	光デバイスに使用される電源 IC トレックスセミコンダクター株式会社 事業本部 ビジネスデザインユニット 陸川 健一
	<p>[講演内容]</p> <p>・光デバイスに最適なコイル一体型 micro DCDC コンバーター紹介 光デバイスはスペースが限られる事が多く、かつ熱対策が求められる為、小型で発熱の少ない高効率な電源が必要となります。 電源 IC メーカーは小型、高効率だけでなく、高速応答性・高精度・低ノイズを IC チップ内に纏め上げる総合力が要求されます。 トレックスのコイル一体型 microDCDC コンバーターは上記を兼ね備えた製品となります。</p>
12:25 13:05	光パターン形成 LED 照明「ホロライト」～安心・安全・面白い・新しい光の使い方～ パイフォニクス株式会社 代表取締役 池田 貴裕
	<p>[講演内容]</p> <p>光パターン形成 LED 照明「ホロライト」は、高輝度 LED 光源と大型光学素子により空間に様々な光パターンを形成するオンリーワン製品で、必要な場所に必要な量の光を届け光害を低減する光技術です。近年は、工場内の労働災害を低減する安全用照明、地域のもつ魅力を生かして地方創生を実現する演出用照明、光害を低減し新しい景観をつくる建築用照明で活用されており、それらの活用事例を紹介します。</p>

※都合によりプログラム・内容が変更になる場合があります。